

第3期芸術文化振興ビジョン〔概要〕

改定に当たって

経過

H15「芸術文化振興ビジョン」策定（第1期ビジョン）
 ・「芸術文化立県ひょうご」を基本目標に、4つの基本方向により芸術文化施策を推進

H27「芸術文化振興ビジョン」改定（第2期ビジョン）
 ・基本目標、基本方向を維持しつつ、新たに4つの重点取組項目・2つの成果指標を設定

第2期ビジョン策定後の動き

- ・本県の芸術文化施策の進展
拠点施設の改修整備、多彩な事業の展開
- ・国の芸術文化施策の動向
文化芸術基本法の制定等
- ・新型コロナウイルス感染症への対応
芸術文化活動への影響と対策

← 芸術文化振興ビジョン検討委員会 (R2.7~R3.3) による検証・検討

→ 取り組み内容の検証

改定の基本的な考え方

- 「基本目標」及び「基本方向4項目」を第3期ビジョンにおいても引き続き維持。
- 第2期ビジョン策定以降の時代潮流の変化、国の文化施策の動向、ポストコロナ社会への対応、第2期ビジョンの成果の各観点を踏まえ、具体的な展開方向及び主な取組等について改定。

課題の抽出

● 発信力のさらなる強化	● 社会包摂の実現	● 芸術文化の多様な価値の活用
● 人材育成の推進	● 世代間交流の推進	● 連携体制の整備
● 地域偏在の解消	● まちづくり・産業づくりへの活用	
● ポストコロナ社会への対応	● 地域（シビック）プライドの育成	

基本的な考え方と方向性

基本目標 **芸術文化立県ひょうご**
 ～芸術文化が暮らしに息づき、芸術文化で人や地域を元気にする社会の実現～
（第1期・第2期ビジョンの基本目標を継続）

計画期間

2021年（R3）～
2025年（R7）の
5か年

基本方向

- 1 芸術文化を創造・発信する
- 2 芸術文化の“場”を育て広げる
- 3 文化力を高め、地域づくりに活かす
- 4 みんなで支え、総合的に取り組む

（第1期・第2期ビジョンの基本方向を継続）

重点取組項目 （第3期ビジョンにおける重点取組項目を新たに設定）

- 1 芸術文化の創造・発展に向けた人材育成と新たな技術の活用**
 ① 人材育成の推進、② 県内外・国内外への更なる発信力の強化、
 ③ 芸術文化にふれる機会の地域偏在の解消、④ オンライン鑑賞や芸術文化拠点の安全確保
- 2 県民誰もが身近に芸術文化に親しめる多様な環境の充実**
 ① すべての人が芸術文化に親しみ、発信できる共生社会に向けた社会包摂の実現、
 ② 様々な世代間で芸術文化をともに楽しめる交流の推進
- 3 芸術文化資源を通じた地域の活性化**
 ① 地域活性化に向け文化資源や芸術文化のまちづくり・産業づくりへの活用、
 ② 地域の優れた芸術文化遺産の発掘・発信による地域意識（シビックプライド）の育成
- 4 芸術文化を支えるプラットフォームの整備**
 ① 県・市町、芸術文化団体、文化施設、民間等が連携して取り組む体制の整備

成果指標 （第2期ビジョンの指標（21世紀兵庫長期ビジョン「兵庫のゆたかさ指標」）を継続（①・④）
 新たに「県民モニターアンケート」の調査項目から指標を追加（②・③）

① 住んでいる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合	R2 : 37.1% → R7目標 : 50%
② この1年間に外向いて芸術文化を鑑賞した人の割合	R元 : 93.5% → R7目標 : 90%以上
③ この1年間に芸術文化活動を自ら行った人の割合	R元 : 44.7% → R7目標 : 55%
④ 住んでいる市・町で、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合	R2 : 55.0% → R7目標 : 65%

課題と展開方向

第3期ビジョンにおける展開方向・主な取組を新たに設定。

1 芸術文化を創造・発信する

展開方向	主な取組
(1) 芸術文化を担い、育て、つなげる人材を育成する	◆ 若手芸術家の発掘・育成 重点1 ◆ 芸術文化活動を支えるプロフェッショナルの確保・育成 重点1 ◆ 文化ボランティアの育成・活用 重点1
(2) 芸術文化の拠点機能を高める	◆ 県内外の施設とのネットワークの拡充による利活用の促進 ◆ 芸術文化施設の活用、適切な維持・保全 ◆ 新たな芸術文化拠点整備における地域との連携 ◆ ガイドラインを踏まえた感染防止対策の徹底と円滑な施設の運営 コロナ
(3) 芸術文化の発信力を強化する	◆ ICT等を活用した多彩な芸術文化情報の発信等 重点1 コロナ ◆ 芸術文化の活動・鑑賞機会等に関する地域偏在の解消 重点1 コロナ ◆ コロナ禍から生まれた新たな創造・発信手法の展開 重点1 コロナ ◆ 大規模イベントを契機とした国際的な芸術文化活動の展開・発信

2 芸術文化の“場”を育て広げる

展開方向	主な取組
(1) 地域で多様な“場”を育て広げる	◆ 芸術家等が地域へ出向くアトリチ活動の推進 重点2 コロナ ◆ 様々な場所の芸術文化発表の舞台としての活用 コロナ ◆ 交流の機会の創出と充実 ◆ 県民の芸術文化活動への支援
(2) 芸術文化による社会包摂の実現	◆ 高齢者・障害者・外国人の芸術文化活動への支援 重点2 ◆ すべての人があらゆる地域で芸術文化を享受できる環境づくり 重点2
(3) 青少年が本物の芸術文化に親しむ	◆ 青少年が本物の芸術文化に親しむ機会の充実 重点1 重点2 コロナ ◆ 学校教育との連携の推進 重点1 重点2 ◆ 親への啓発や親子交流の促進 ◆ 文化の担い手の発掘・育成に向けた青少年への魅力発信 重点1 重点2

3 文化力を高め、地域づくりに活かす

展開方向	主な取組
(1) 芸術文化資源の掘り起こしと文化力の向上	◆ 文化財・伝統芸能等地域資源の保存と活用 重点3 ◆ 産業遺産や地域の芸術文化遺産の再評価 ◆ 地域内部への芸術文化資源のPR ◆ 地域（シビック）プライドの育成 重点3
(2) 地域資源を活用した地域の元気づくりの推進	◆ 地域遺産等を活用したまちづくりの推進 重点3 ◆ 観光資源としての魅力向上に向けた展開方法の充実 ◆ 地域資源の観光への活用 ◆ 芸術家の発想を活用した地場産品等の制作・発売

4 みんなで支え、総合的に取り組む

展開方向	主な取組
(1) 県民自らが芸術文化を支え育てる	◆ 芸術家を支援する目を持つ観客の育成 重点1 ◆ 県民等の参画と協働の促進 ◆ ふるさと寄附、クラウドファンディング等の促進
(2) 県民、団体、企業、行政等の各主体の連携体制を強化する	◆ 相互連携を支えるプラットフォームの整備 重点4 コロナ ◆ 芸術文化振興のための財源の確保 ◆ 国や市町、関係団体との連携体制の確立 重点4

（再掲）ポストコロナ社会への対応

主な取組
◆ ガイドラインを踏まえた感染防止対策の徹底と円滑な施設の運営 ◆ コロナ禍から生まれた新たな創造・発信手法の展開 ◆ ICT等を活用した多彩な芸術文化情報の発信等 ◆ 青少年が本物の芸術文化に親しむ機会の充実 ◆ 相互連携を支えるプラットフォームの整備